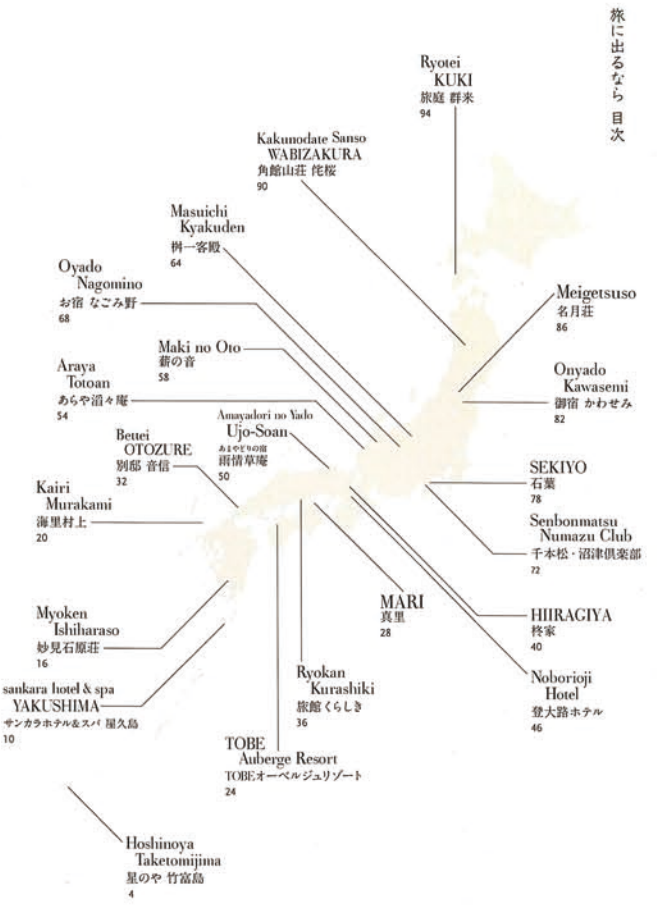
人はいったい何を求めて旅に出るのだろうか。どこか見知らぬ土地に行ってみようと思う時、心にどんな景色を思い浮かべるだろうか。太陽がきらめく海、新緑がそよぐ森、それともどこまでも続く白銀の世界。そこには、思いがけない人との出会いがあるかもしれない。豊かで滋味あふれるその土地ならではの食を発見するかもしれない。身も心も癒してくれる温泉を見つけるかもしれない。そんな想いを抱いて、人はいつしか遠くに来てしまう。慌ただしい日常を離れて、非日常の中にいる自分を求めて。まるで、細胞の奥底に旅に出ることが宿命として記憶されているかのように。

限りある国土ながら、日本にはその地方、その土地に息づく固有の文化があり、食があり、温泉があり、人がいる。そんな場所にひとたび足を踏み入れたら、また新しい発見があり、出会いがある。そしてそこに、気持ちが潤い、感性を磨いてくれるような宿をぜひ見つけたいと誰しも思うだろう。そんなすばらしい宿に身を委ね、心ゆくまでくつろぐ。「旅に出るなら——」。一休.comが全国各地から厳選した21宿は、きっとそんな贅沢を許してくれるはずだ。でもそれは、実際に行ってみなければわからないこと。思い立ったが吉日、さあ旅に出よう。このページのどこかに、旅を通して豊かな人生を送るための糸口が見つかることを願って。

＊食事内容は季節によって変わります。
＊宿までの所要時間は目安です。当日の交通状況によって変わります。
＊掲載している情報は2014年4月30日現在のもので、宿泊料は税・サービス料込みです。
＊本書で紹介している宿は一休.comから申し込むことができます。詳しくはp.100をご覧ください。

旅に出るなら 目次



TOBE Auberge Resort

TOBEオーベルジュリゾート

広がる、美しい滋味の世界

街道から一歩入ると、四季の彩りを映し出す大きな美しい池が忽然と姿を現す。そのほとりに静かに浮かぶ『TOBEオーベルジュリゾート』は、愛媛の豊かな自然の恵みを享受し、美食を追求するこだわりのオーベルジュ。愛媛を愛するオーナー・越智仁文氏と総料理長・藤内宏次郎氏の感性が融合した美しいこの宿は、優美な自然に包まれて、洗練された料理と客室が身も心も癒してくれる。

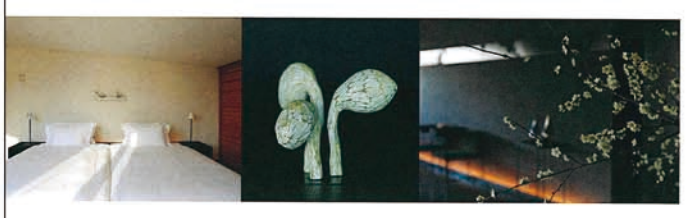
「人を喜ばせるのが何より好き」な越智氏は、実は元ミュージシャン。オーベルジュを始めるなどと夢にも思っていなかったころ、この場所を偶然訪れ、この風景にまさに「恋に落ちた」。少しずつ土地を購入し、「ここで何か皆に楽しんでもらえるようなものができないか？」と常に考えていたという。それから十数年、手がけていたウェディング事業を軌道に乗せたのをきっかけに、この砥部（とべ）の地でオーベルジュを始める決意をした。その時、真っ先に連絡したのは、当時大手ホテルでシェフをしていた藤内総料理長。実は二人、小学校から高校まで同窓の幼馴染みだ。「ずっと一緒でお互いの家族もよく知っているから、兄弟みたいなものです。多くを説明しなくてもやりたいことや、目指していることをすぐに察知してくれる。ありがたいですね」（越智氏）。

朝、目を覚まして、窓を開ければ、そこにはやさしい風、きらめく水面、鳥のさえずり。まだ夢を見ているかのような、現実とは思えない景色を目の当たりにする。

愛媛の滋味が広がる　ダイニングテーブルの向こうには、樹木の緑と水辺の青のコントラストが広がる爽やかな風景。それが夕方から夜にかけて、ディナーが始まるころには、美しくセクシーな表情に一変する。この艶やかで洗練された雰囲気の中、砥部焼の皿に美しい料理の数々が広がる。そして、やさしさにあふれた料理は感性を揺さぶる。フレンチ出身の藤内氏は言う。「愛媛の郷土料理やおふくろの味とフレンチを融合した『TOBEオーベルジュリゾート』らしい、ここでしかできない料理にこだわっています。最近は身体に負担のない和食の色合いも強くなってきました」。海の幸にも山の幸にも恵まれた愛媛県。滋味深い素材が、洗練されたシェフの腕により、美しい一皿へと昇華されていく。

また、事前に予約をすれば、美しい風景を独り占めできる敷地内の丘の上で朝食をとることができる（1日1組み限定、先着順）。朝の清々しい空気、朝日にきらめく美しい水面を眺めながらの朝食は、「来てよかった！」と心から思うひと時だ。

愛媛県伊予郡砥部町宮内1622-7　TEL 089-960-7501
松山空港、JR予讃線松山駅より車で30分
1泊2食付き：2名1室　71,280円～（小学生以下利用不可）



洗練のインテリア Made in 愛媛　大人の落ち着いた雰囲気と洗練された料理。それなのに、緊張もせずリラックスできるのは、越智氏をはじめとするスタッフの朗らかな人柄と愛媛の温暖な気候がなせる業。「気の流れがいい」という言葉が、文字どおりこの宿にぴったり来るのも納得だ。

すべての客室は池のほとりに面し、大きく開放的な窓から雄大な自然を眺めることができる。風呂場の窓を大きく開け放ち、のんびり湯につかりながら風景を眺めていると、心身ともにデトックスされているのをまさに実感する。越智氏が全国の旅館やホテルを泊まり歩き、お客様が本当に気持ちよく過ごすことを追求した空間は、風景に溶け込みつつ温かみと洗練さが両立している。

見ているだけでも幸せな気分になってしまうセンスのよいインテリア、食器、オブジェの数々は、そのほとんどが愛媛在住の作家によるもの。建物の設計も愛媛在住の建築家にお願いした。「『愛媛だけ』で、これだけのものができるんだという心意気を見せたかった」と越智氏。「愛媛」にこだわり造り上げたこのオーベルジュは、食はもちろん、「Made in 愛媛」を再発見する楽しみにもあふれている。

砥部
砥部町は、良質の陶石が産出されたことから、江戸時代より陶磁器作りが行なわれ、「砥部焼」の町としても全国的に知られている。近年では若手作家も活躍しており、日常使いの器として人気だ。また砥部町七折（ななおり）地区は、知る人ぞ知る高級梅の産地。『TOBEオーベルジュリゾート』より車で10分のところにある『七折梅園』では、毎年2月から3月にかけて1万本を超える梅が咲き誇り、圧巻だ。宿ではこの七折地区の梅で作った薫り高い梅酒も提供している。

ミュゼ里山房
『TOBEオーベルジュリゾート』で使われているセンスのよい砥部焼の皿やランプ、グラスなどを販売しているギャラリー。愛媛県在住の若手作家の作品も扱っている。宿泊者は砥部焼の陶芸体験も可能。
営業時間：10:00～18:00　定休日：木曜日
砥部町宮内980　TEL 089-962-3208
＊『TOBEオーベルジュリゾート』より徒歩3分。

瀬戸内海のきらめき
せっかく愛媛に来たのならちょっと足を延ばして風光明媚な瀬戸内海の眺望を楽しもう。『TOBEオーベルジュリゾート』から車で1時間。延長約60kmの「しまなみ海道」（西瀬戸自動車道）は瀬戸内海の各島（大島、伯方島、大三島、生口島、因島、向島）をまたぎながら愛媛県今治（いまばり）と広島県尾道を結ぶ美しい道だ。今治側から入ると、世界初の三連吊り橋であるダイナミックな「来島海峡大橋」と瀬戸内海の島々が目に飛び込んでくる。各島に立ち寄りながらのドライブは、この上ない気持ちのよさ間違いなし。また、大島にある標高307.8mの亀老山（きろうさん）山頂にある展望台は、来島海峡大橋や来島海峡の潮流、瀬戸内海の島々が一望できる越智氏推薦の場所。「ここからの風景を見ると心が癒されて、またがんばろうって思うんです。夕日が沈む時間もすばらしいですよ」。